



令和7年9月24日（水） 岐阜県発表資料			
担 当 課	担 当 者		電 話 番 号
環境生活政策課	生物多様性企画監	江崎	内線2920 直通058-272-8231 FAX 058-278-2605
国立大学法人東海国立 大学機構 岐阜大学	応用生物科学部 教授	楠田	直通058-293-2862

ライチョウをテーマに生物多様性シンポジウムを開催します （参加者募集）

今年はライチョウが県の鳥に指定されて60周年にあたります。

県では、岐阜大学と共催で、ライチョウ保全活動の第一線でご活躍の方々をお招きし、下記のとおりシンポジウムを開催しますので、県民の皆様のご参加をお待ちしております。

記

1 日 時 令和7年10月5日（日）13:00～17:40（12:30受付開始）

2 会 場 岐阜大学応用生物科学部101多目的ホール（岐阜市柳戸1-1）

3 講演内容 第一部 ライチョウの保全事業～生息地と動物園～

「復活した中央アルプスのライチョウと今後の課題」

なかむら ひろし
中村 浩志 氏（一般財団法人中村浩志国際鳥類研究所 代表理事）

「神の鳥“ライチョウ”を育てる動物園の飼育繁殖大作戦」

あきば ゆき
秋葉 由紀 氏（富山市ファミリーパーク 飼育展示第2係長）

第二部 岐阜県での活動～調査研究紹介～

「岐阜県でのこれまでのライチョウ調査と御嶽山の状況」

ふくい つよし
福井 強志 氏（日本野鳥の会岐阜 監事）

「ライチョウの山の“いま”

—ニホンジカを中心とした哺乳類の生息状況（乗鞍・御嶽）—」

もり ともき
森 智基 氏（岐阜県野生動物管理推進センター 特任助教）

「動物園と連携したライチョウ繁殖推進のための生理調査」

さいとう まこ
斉藤 真子 氏（岐阜大学大学院自然科学技術研究科 修士課程）

第三部 ライチョウ保全の未来

「ライチョウからみる希少野生動物保全の今後」

福田 真 氏（環境省信越自然環境事務所 生息地保護連携専門官）

「ぎふライチョウ保全研究会の設立 ～岐阜県でのこれから～」

楠田 哲士 氏（岐阜大学応用生物科学部 教授）

4 定 員 100名（先着順）

5 参 加 費 無料

申し込みはこちら

6 申込方法 右の2次元コードからお申込み下さい。



7 申込締切 令和7年10月3日（金）

8 問合せ先 環境生活政策課生物多様性係（電話：058-272-8231）

9 主 催 者 岐阜県、国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学、ぎふライチョウ保全研究会

【講師紹介】

中村 浩志 氏

信州大学名誉教授・一般財団法人中村浩志国際鳥類研究所代表理事。専門は鳥類生態学。ライチョウ会議議長。学生のころからライチョウに関する研究を行い、信州大学退職後の現在もライチョウの調査と保護活動に取り組む。中央アルプスにライチョウを復活させる環境省事業の総指揮をとり、事業の成功に貢献したことから、2024年の秩父宮記念山岳省を受賞。

秋葉 由紀 氏

富山市ファミリーパーク飼育展示二係長・獣医師。2010年からスバルライチョウ、また2015年のニホンライチョウの飼育開始当初から担当獣医師として健康管理に関わり、2018年から公益社団法人日本動物園水族館協会生物多様性委員会ライチョウ計画管理者として、日本の動物園でのライチョウ生息域外保全事業の総指揮をとる。

福田 真 氏

環境省信越自然環境事務所生息地保護連携専門官。学生時代、信州大学で中村浩志教授の生態学研究室に所属していた。2015年度から2019年度まで信越自然環境事務所でライチョウの保護増殖事業等を担当。その後、2025年度に再び信越自然環境事務所に着任し、ライチョウの保護増殖事業等の業務を担当する。

福井 強志 氏

日本野鳥の会岐阜監事。岐阜県レッドリスト・外来種リスト調査検討委員会委員などを務め、県内の鳥類調査・保護活動等を行う。過去に、岐阜県で行われたライチョウ生息状況調査に参加し、現在も御嶽山等でライチョウの生息状況の調査を行っている。

森 智基 氏

岐阜県野生動物管理推進センター、岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター特任助教。専門は動物生態学。大型哺乳類（ツキノワグマ・ニホンジカ）の生態や管理をテーマに、御嶽山と乗鞍岳のライチョウ生息地でのニホンジカ侵入状況や伊吹山でのニホンジカの調査に取り組む。

斉藤 真子 氏

岐阜大学大学院自然科学技術研究科修士課程2年（動物保全繁殖学研究室）。動物園生物学研究センター所属。動物園でのライチョウ生息域外保全における適正繁殖推進のために、性ホルモンと換羽状況などを分析し、繁殖の生理生態の研究を行っている。

楠田 哲士 氏

岐阜大学応用生物科学部教授。専門は動物保全繁殖学・動物園学。ぎふライチョウ保全研究会代表、公益社団法人日本動物園水族館協会（JAZA）生物多様性委員会外部委員、動物園水族館繁殖研究アライアンス代表などを務める。2011年からライチョウの繁殖生理研究や普及活動を始め、JAZA・環境省の生息域外保全事業に関わる。